

平成30年度 第2回 医療・介護・住まい部会  
(田川市地域包括ケアシステム推進協議会)

平成31年2月4日(月) 18:00～

田川市役所 別館A会議室

1 開会

2 部会長あいさつ

3 議事

(1) 「医療と介護の情報共有の仕組みづくり」について・・・〔別紙1、資料1-1～1-3、資料2〕

(2) 「多職種連携のための場づくり」について・・・・・・・・・・・・・・・・〔別紙1、資料3〕

(3) 「住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進」について・・・〔別紙1、資料4-1、4-2〕

(4) 「高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備」について  
・・・・・・・・〔別紙1、資料5-1～5-4〕

(5) その他

4 閉会

次回 平成31年8月頃開催予定

医療・介護・住まい部会の平成29年度実績及び30年度実績(予定)

◎ 高齢者が住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスが受けられる。

事業の柱		在宅医療・介護の提供	高齢者の居住確保	
事業	医療と介護の情報共有の仕組みづくり	多職種連携のための場づくり	住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進	高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備
担当課	地域福祉課 福祉政策係 高齢障害課 地域包括支援係	高齢障害課 地域包括支援係	建築住宅課 住宅政策係	高齢障害課 高齢介護係 建築住宅課 住宅政策係
平成29年度 実績	<p>【地域福祉課】</p> <p>○地域医療構想について</p> <p>・地域医療構想の推進のため、福岡県地域医療構想調整会議に参加し、地域医療構想の達成に向けて、必要事項を協議している。</p> <p>○医療と介護の連携状況の把握</p> <p>・市内の介護施設、事業所等と医療機関との連携状況について、現状を把握するためアンケート調査及び分析を実施。</p> <p>・対象施設：市内の介護施設、事業所等(27箇所)及び医療機関(5箇所)</p> <p>【高齢障害課】</p> <p>○退院時等連携会議 年3回(6月、10月、1月)</p> <p>・H28年度、退院時における主任介護支援専門員の医療との連携に関するインタビュー調査を実施。その結果を基に、主任介護支援専門員と医療関係者による退院時等連携のあり方について意見交換会を行い、会議の継続を希望する意見あり。</p> <p>・H29年度、田川市内の主任介護支援専門員、病院関係者(看護師及び医療ソーシャルワーカー等)、田川保健福祉事務所職員、市職員(地域福祉課、高齢障害課)で実施。</p> <p>○主任介護支援専門員の退院時等連携実態調査を実施(7~9月)</p> <p>○「入退院時連携マニュアル~病院とケアマネジャーとの連携の基本的な進め方~」を作成</p> <p>・H29.11月 入退院時連携マニュアル(案)を作成、介護支援専門員研修会にて周知し、改訂内容について検討</p> <p>・H30.1月~2月 入退院時連携マニュアルの改訂</p> <p>・H30.3月 入退院時連携マニュアル作成(800部)</p> <p>○退院時等連携推進研修会の実施(3/13 88人)</p> <p>・入退院時連携の必要性を理解でき、マニュアルの活用促進のため実施</p>	<p>○田川市多職種連携研修会について(8/22、82人)</p> <p>・H27年度から模擬事例検討会として各専門職種の役割をお互いに理解する事を目的として実施。</p> <p>・H28年度からは、病院にも参加を呼びかけ、病院の医療従事者が在宅介護、看護の現状を知る機会にもなっている。今回は多職種による対象者のゴール(目標)の共有について考える機会とした。</p> <p>○ケアカフェたがわについて</p> <p>・H29年度から多職種の連携構築及び地域課題の共有、解決を図る場として開催。</p> <p>・医療介護福祉領域間の、特に現場においてのバリアをなくすため、医療・介護・福祉関係者が「顔の見える関係」を作り、「日常の相談ごと」を話し合う場としてワールドカフェ方式にて実施。</p> <p>・第1回6/28、「切れ目ないケアの情報共有について」50人</p> <p>・第2回11/7、「在宅での看取りを考える」56人</p> <p>・第3回2/7、公開講座「写真が語る、いのちのトランジレー」173人</p>	<p>○住宅リフォーム助成事業について</p> <p>・一般住宅のバリアフリー化率向上のため、今年度から住宅リフォーム助成事業の上限額引上げを実施。</p> <p>○市営住宅への取組みについて</p> <p>・市営住宅のバリアフリー化は「田川市住宅マスタープラン」に掲げる管理戸数削減方針と密接に関わっているため、これに基づいた検討を行う。</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○施設整備の方針について</p> <p>・介護保険施設の整備については、福岡県高齢者保健福祉計画の中で施設整備量を計画し、計画期間の3年間で整備していく。</p> <p>・平成29年度に、福岡県高齢者保健福祉計画(第8次)及び福岡県介護保険広域連合介護保険事業計画(第7期)を策定することに伴い、田川市の施設整備の方針を決定。</p> <p>・平成29年度中に2回、福岡県によるヒアリングを受ける。</p> <p>・医療・介護・住まい部会では、施設整備の方針と考え方について報告。</p> <p>【建築住宅課】</p> <p>○高齢者向け賃貸住宅の普及促進</p> <p>・市営住宅のみで住宅セーフティネットを担うのは困難なため、地域優良賃貸住宅等の普及促進に向けた取組みを検討する。</p>
平成 30 年度 実績 (予定)	<p>【地域福祉課】</p> <p>○地域医療構想について</p> <p>・福岡県地域医療構想調整会議(H30年度第1回)に参加</p> <p>・これまでの取組状況及び地域医療構想の推進に係る今後の進め方などについて協議。</p> <p>○医療と介護の連携</p> <p>・入院時情報提供書(簡易版)の作成及び提供</p> <p>・退院時等連携会議(10月)において入院時情報提供書(案)について意見を聴取。その後、提供先施設、事業所等(市内37施設)へ意見を聴取し、完成。完成版を該当施設に郵送及び田川市ホームページに掲載した。</p> <p>・入退院時連携窓口一覧の作成について</p> <p>・市内8病院における連携窓口の役割及び連絡先等を確認し、一覧表を作成。一覧表は田川市地域包括支援センターを通じ、ケアマネジャー等へ配布。</p> <p>【高齢障害課】</p> <p>○退院時等連携会議 年3回(6月、10月、2月)</p> <p>・入退院時マニュアル活用状況の把握及び推進</p> <p>・医療介護診療報酬改定及び連携加算についての情報共有及び現状把握</p> <p>・入院時情報提供書(簡易版)についての意見交換</p> <p>・在宅医療介護連携指標の検討</p> <p>○医療・介護関係者の情報共有の支援(医師会委託事業)</p> <p>・とびうめネットの活用推進として、多職種連携による情報共有事例を2事例(患者ごとの多職種チーム)実施予定。</p> <p>・ブロック別ワーキンググループ会議にて、訪問診療や看護、介護等で書き込むノートの活用推進を話し合った。</p> <p>・在宅医療推進委員会「看取り輪番制」について検討し、平成30年12月14日に設置した。(登録医師:22名)</p>	<p>○田川地区在宅医療介護連携協議会について(医師会委託事業)</p> <p>・医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカー、訪問看護師、リハビリ専門職、管理栄養士、市町村の代表者からなる在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策を検討する会議を設置。</p> <p>・田川地区を3ブロック【上田川(添田町、川崎町、大町、香春町、赤村)・中田川(田川市)、下田川(糸田町、福智町)】に分け、各職種が構成員として1名ずつ抽出し、現状及び課題、対応策を検討する(ブロック別ワーキンググループ会議)。</p> <p>○中田川ブロック多職種連携研修会について(医師会委託事業)(11/9、71人)</p> <p>・ブロック別ワーキンググループ会議で検討し、「認知症、独居高齢者のキーパーソンの確保」が最優先課題として抽出された。</p> <p>・上記の課題を研修テーマとし、多職種にて意見交換した。「緊急連絡先カードの作成」「地域の見守り体制構築の推進」「多職種と民生委員の連携強化」「とびうめネットの推進」等の対策強化案が抽出された。</p> <p>○ケアカフェたがわについて(福岡県立大学共催)</p> <p>・H30年度は、多職種の協力を得て、研修テーマの検討及び運営を協働にて行った。今年度のテーマは、「在宅の看取りケアについて考える」。</p> <p>・第1回7/4、「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」について62人</p> <p>・第2回9/18、「自分の死生観を考える~臨床宗教師の立場から話題提供~」48人</p> <p>・第3回12/21、「初めての臨床倫理」35人</p> <p>・第4回2/21、「立ち止まる倫理のスズメ」予定</p>	<p>○住宅リフォーム助成事業について</p> <p>・市民への周知拡大のため、3地区合計で約200世帯にチラシのポステイングを実施。</p> <p>○市営住宅への取組みについて</p> <p>・バリアフリー化を伴う老朽化市営住宅の建替えについては、現在策定中の市営住宅管理戸数削減計画の中で、併せて検討中。</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○施設等の現地調査</p> <p>・地域密着型サービス事業所において、新規指定及び指定期更新(6年に1回)に係る現地調査を実施。(計5件 うち入所系:グループホームの更新 1件)</p> <p>○高齢者における介護施設等の利用状況調査</p> <p>(平成30年12月1日現在)</p> <p>【建築住宅課】</p> <p>○高齢者向け賃貸住宅の普及促進</p> <p>・当課において最優先課題となっている市営住宅管理戸数の削減に係る計画を現在策定中である。</p>
事業報告	<p>【地域福祉課】</p> <p>○医療と介護の連携</p> <p>・入院時の情報提供書(簡易版)について(資料1-1~1-3)</p> <p>・入退院時連携窓口一覧の作成について(資料2)</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○中田川多職種連携研修会及びケアカフェたがわの実施状況(資料3)</p>	<p>○住宅リフォーム助成事業について</p> <p>・補助金の引上げ及び周知活動により、今年度も利用件数は好調に推移。(資料4-1)</p> <p>・平成31年度から実施予定の合併浄化槽への改修補助に伴い、併せてトイレ室内のバリアフリー改修増が見込まれるため、環境対策課と見込件数及び補助対象項目について確認。</p> <p>○市営住宅への取組みについて</p> <p>・上記計画については平成31年度を目途に策定を完了予定(資料4-2)</p>	<p>【高齢障害課】</p> <p>○高齢者における介護施設等の利用状況調査結果(資料5-1~5-4)</p> <p>【建築住宅課】</p> <p>○高齢者向け賃貸住宅の普及促進</p> <p>・上記計画では老朽化市営住宅のバリアフリー化を伴う老朽化市営住宅の建替えも視野に入れ検討しているところである。今後は当該計画及び高齢者向け賃貸住宅の充足状況を考慮し、施策を検討する。</p>

記入日： 年 月 日  
 入院日： 年 月 日  
 情報提供日： 年 月 日

入院時情報提供書（簡易版）

医療機関 ← 居宅介護支援事業所以外の事業所・施設等

医療機関名： 事業所・施設名：

ご担当者名： 担当者氏名：

TEL： FAX：

利用者(患者)/家族の同意に基づき、利用者情報(身体・生活機能など)の情報を送付します。是非ご活用下さい。

1. 利用者(患者)基本情報について

患者氏名	(フリガナ)	年齢	才	性別	男	女
		生年月日	明・大・昭	年	月	日生
住所	〒		電話番号			
入院時の要介護度	<input type="checkbox"/> 要支援 ( ) <input type="checkbox"/> 要介護 ( ) 有効期間： 年 月 日 ~ 年 月 日 <input type="checkbox"/> 申請中(申請日 / ) <input type="checkbox"/> 区分変更(申請日 / ) <input type="checkbox"/> 未申請					
認知症高齢者の日常生活自立度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M				<input type="checkbox"/> 医師の判断 <input type="checkbox"/> ケアマネジャーの判断	

2. 家族構成/連絡先について

世帯構成	<input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> 高齢者世帯 <input type="checkbox"/> 子と同居 <input type="checkbox"/> その他 ( ) * <input type="checkbox"/> 日中独居				
キーパーソン	(続柄 ・ 才)	連絡先	TEL：		

3. 身体・生活機能の状況/療養生活上の課題について

褥瘡の有無		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ( )							
A D L	移動	自立	見守り	一部介助	全介助	移動(室内)	<input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> その他		
	更衣	自立	見守り	一部介助	全介助	移動(屋外)	<input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> その他		
	入浴	自立	見守り	一部介助	全介助				
	食事	自立	見守り	一部介助	全介助				
食事	食事形態	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> きざみ <input type="checkbox"/> 嚥下障害食 <input type="checkbox"/> ミキサー	食事制限		<input type="checkbox"/> あり ( ) <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明				
口腔	嚥下機能	<input type="checkbox"/> むせない <input type="checkbox"/> 時々むせる <input type="checkbox"/> 常にむせる							
排泄*	排尿	自立	見守り	一部介助	全介助	ポータブルトイレ	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 夜間 <input type="checkbox"/> 常時		
	排便	自立	見守り	一部介助	全介助	オムツ/パッド	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 夜間 <input type="checkbox"/> 常時		
喫煙		無	有 _____ 本くらい/日						
コミュニケーション能力	視力	問題なし	やや難あり	困難		言語	問題なし	やや難あり	困難
	聴力	問題なし	やや難あり	困難					
疾患歴*		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 悪性腫瘍 <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> 急性呼吸器感染症 <input type="checkbox"/> 脳血管障害 <input type="checkbox"/> 骨折 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
入院前に実施している医療処置*		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 点滴 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 喀痰吸引 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> 経鼻栄養 <input type="checkbox"/> 経腸栄養 <input type="checkbox"/> 褥瘡 <input type="checkbox"/> 尿道カテーテル <input type="checkbox"/> 尿路ストーマ <input type="checkbox"/> 消化管ストーマ <input type="checkbox"/> 痛みコントロール <input type="checkbox"/> 排便コントロール <input type="checkbox"/> 自己注射 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )							

4. お薬について ※必要に応じて、「お薬手帳(コピー)」を添付

内服薬	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ( )
服薬状況	<input type="checkbox"/> 処方通り服用 <input type="checkbox"/> 時々飲み忘れ <input type="checkbox"/> 飲み忘れが多い、処方が守られていない <input type="checkbox"/> 服薬拒否

5. かかりつけ医について

かかりつけ医機関名		電話番号	
-----------	--	------	--

6. 特記事項(特に注意すべき点など)

--

\* = 診療報酬 退院支援加算 1. 2 「退院困難な患者の要因」に関連

## 高齢者の入所系(居住系)施設(田川市のみ)

平成30年12月1日現在  
市内 37 施設

## ●介護老人福祉施設

	施設名	住所	電話番号	定員	備考
1	特別養護老人ホーム 寿楽園	田川市伊加利平原2097番地	45-7702	100	
2	特別養護老人ホーム ことぶき園	田川市伊田431-1	45-4141	50	
3	特別養護老人ホーム むつみ園	田川市夏吉36-4	44-3644	50	
4	ユニバース介護老人福祉施設 春のおとろし	田川市伊加利2047-3	42-0368	60	

## ●介護老人保健施設

	施設名	住所	電話番号	定員	備考
1	介護老人保健施設 あけぼの荘	田川市夏吉46番地	46-1750	100	
2	介護老人保健施設 明寿苑	田川市川宮1569番地の2	45-3232	100	
3	介護老人保健施設 サンドリウム 田川	田川市伊加利2047-4	42-1452	80	

## ●介護療養型医療施設

	施設名	住所	電話番号	定員	備考
1	医療法人田中医院	田川市春日町1番7号	42-0112	8	

## ●特定施設入居者生活介護

	施設名	住所	電話番号	定員	備考
1	アットホームこころ	田川市夏吉417番地の3	44-6330	30	
2	さわやか田川館	田川市伊田393-1	46-3333	60	

## ●認知症対応型共同生活介護 ◎

	施設名	住所	電話番号	定員	備考
1	グループホーム 見立	田川市弓削田3251番地	42-8817	9	
2	グループホーム めぐみの里	田川市夏吉364番地	45-2409	18	
3	グループホーム サンホーム	田川市川宮1711番地29	45-5050	18	
4	いきいきハウス日吉町	田川市糺2264番地1	45-5500	9	
5	医療法人吉峯医院グループホーム日の出	田川市新町24番24号	44-5588	18	
6	グループホーム 夏吉園	田川市夏吉3614番地の1	45-3108	18	
7	グループホームやすらぎ	田川市伊田426番地	42-8830	18	
8	グループホーム 愛の里 白寿荘	田川市奈良1534番地の31	45-2513	18	
9	グループホーム 心笑み 伊田	田川市伊田3764-1	46-4248	9	
10	グループホーム 愛ほ一む	田川市夏吉334番15	42-2222	18	
11	グループホーム 老花家	田川市伊田2585番地4	50-8800	9	

## ●養護老人ホーム

	施設名	住所	電話番号	定員	備考
1	シントラスト夢美苑	田川市大字川宮1567-8	49-2600	50	

## ●軽費老人ホーム(ケアハウス)

	施設名	住所	電話番号	定員	備考
1	ジョイハート	田川市大字奈良1529-55	50-8500	30	

## ●介護付有料老人ホーム

	施設名	住所	電話番号	定員	備考
1	アットホームこころ	田川市大字夏吉417-3	44-6330	30	重複
2	さわやか田川館	田川市大字伊田393-1	46-3333	60	重複

## ●住宅型有料老人ホーム

	施設名	住所	電話番号	定員	備考
1	コレクティブハウス「めぐみ」	田川市大字夏吉263番地11	42-9280	13	
2	住宅型有料老人ホームばらだいたす	田川市大字夏吉3062番地の1	44-2345	20	
3	住宅型有料老人ホームレッツヒェルン	田川市大字川宮664番地	50-8020	33	
4	住宅型有料老人ホームきらぼし	田川市大字弓削田117-1	49-3211	40	
5	サニーサイド	田川市大字伊加利2140-8	46-0701	14	
6	住宅型有料老人ホームまごころ	田川市伊田4849番地1	42-8887	18	
7	いきいきハウスレジデンス	田川市大字糺2265番地1	45-5500	18	
8	日の出荘	田川市大字伊田491-1	46-5546	20	
9	第2日の出荘	田川市大字伊田487-1	46-5546	20	
10	住宅型有料老人ホームケアタウンあいあい田川	田川市大字糺2085-10	44-3848	89	
11	後藤寺サクラ園	田川市丸山町1番4号	44-6606	30	
12	かながわ苑	田川市大字夏吉1785番地1	85-9008	36	
13	サンブレイス暖家の丘	田川市大字位登113番地1	85-9223	50	

## ●サービス付高齢者向け住宅

	施設名	住所	電話番号	戸数	備考
1	サンフェロー暖家の丘	田川市大字糺824番地20	50-7008	98	

## ●地域優良賃貸住宅(高齢者型)

	施設名	住所	電話番号	戸数	備考
1	かながわ苑	田川市大字夏吉1785番地1	85-9008	36	重複
2	後藤寺サクラ園	田川市丸山町1番4号	44-6606	30	重複
3	サンブレイス暖家の丘	田川市大字位登113番地1	85-9223	50	重複
4	サンフェロー暖家の丘	田川市大字糺824番地20	50-7008	98	重複

◎ 地域密着型:原則として田川市内の利用者のみ



くらし・環境

健康・福祉

子育て・教育

しごと・産業

観光・イベント

まちづくり・市政

ホーム > 分類から探す > 健康・福祉 > 医療 > 地域医療 > 入院時情報提供書(簡易版)の提供について

もっと見る(全3件)

## 入院時情報提供書(簡易版)の提供について

最終更新日: 2018年12月12日 | 市民生活部 地域福祉課 TEL: 0947-85-7118 FAX: 0947-46-0124 E: fukushi@lg.city.tagawa.fukuoka.jp

田川市では、医療と介護の連携について取り組んでいます。

医療と介護の連携を図るため、介護保険施設などから病院に入院するときに使用する様式を作成しました。

この様式は田川市地域包括ケアシステム推進協議会(医療・介護・住まい部会)において検討を重ねたもので、市内の病院や、介護保険施設などにも意見をいただきながら、作成したものです。

使用する施設などとして、介護保険施設等、有料老人ホーム、グループホーム、高齢者向け住宅などを想定しています。

各施設・事業所の皆さまはこちらからダウンロードし、ご活用ください。↓

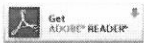
入院時情報提供書(簡易版) (エクセル: 28.8キロバイト)

※なお、この様式の使用を強制するものではありません。

※また、この様式は居宅介護支援事業所における入院時情報連携加算((1)及び((2))の算定を保証するものではありません。各加算の算定の際に使用する場合は各保険者等へご確認ください。

(ID:5931)

このマークがついているリンクは別ウィンドウで開きます



※資料としてPDFファイルが添付されている場合は、Adobe Acrobat(R)が必要です。

PDF書類をご覧になる場合は、Adobe Readerが必要です。正しく表示されない場合、最新バージョンをご利用ください。

別ウィンドウで開きます

### このページを見ている人は、こんなページも見ています。

2018年12月17日更新 [建設工事及び建設コンサルタント業務等入札結果\(平成30年12月分\)](#)

2018年12月12日更新 [新中学校創設基本計画\(案\)に係る住民アンケートの結果について](#)

2018年12月14日更新 [委託等入札結果\(平成30年12月分\)](#)

2018年12月12日更新 [【12月20日まで受付】田川市競争入札参加資格審査申請案内\(建設工事\)](#)

2018年12月14日更新 [公募型指名競争入札\(平成30年度\)](#)

### あなたが最近チェックしたページ

[\[すべての履歴を削除\]](#)

2018年12月17日更新 [田川市防災行政無線の放送内容](#) [×]



## 「多職種連携のための場づくり」資料

## 【 高齢障害課 地域包括支援係 】

## 1 田川地区在宅医療介護連携協議会について（医師会委託事業）

- (1) 目的：在宅医療・介護連携の現状把握と課題抽出、対応策の検討
- (2) 構成：医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカー、訪問看護師、リハビリ専門職、管理栄養士、市町村及び県の代表者
- (3) 実施状況
  - ・第1回協議会（平成30年5月24日実施）：田川地区を3ブロック【上田川（添田町、川崎町、大任町、香春町、赤村）・中田川（田川市）、下田川（糸田町、福智町）】に分け、各職種が構成員として1名ずつ参加し、現状及び課題、対応策を検討する「ブロック別ワーキンググループ会議」を設置。
  - ・第1回ブロック別ワーキンググループ会議（平成30年7月30日実施）：在宅医療を推進する上での課題について協議。最優先課題として「認知症、独居高齢者のキーパーソンの確保」が抽出された。

## 2 「中田川ブロック多職種連携研修会」について（医師会委託事業）

- (1) 目的：地域課題や現状を共有し、新たな対策を抽出する。
- (2) 方法：グループワーク
- (3) 実施状況
  - ・日時等：平成30年11月9日（金）19：00～21：00 田川青少年文化ホール
  - ・テーマ：「認知症、独居高齢者のキーパーソンの確保」
  - ・参加者：71名
  - ・「緊急連絡先カードの作成」「地域の見守り体制構築の推進」「多職種と民生委員の連携強化」「とびうめネットの推進」等の対策を抽出。

## 2 「ケア・カフェたがわ」について（福岡県立大学共催事業）

- (1) 目的：地域ケアに関わる人達がグループ討論や意見交換をする場を作り、顔の見える関係を築き連携構築及び地域課題の共有、解決を図る。
- (2) 内容：4回/年、第一部話題提供(30分)、第二部ケア・カフェ(60分,ワールドカフェ)
  - ・今年度は、多職種の協力を得て、研修テーマの検討及び運営を協働にて行った。年間のテーマは、「在宅の看取りケアについて考える」とした。
- (3) 実施状況
  - ア 第1回 平成30年7月4日（水）18：00～20：00
    - ・第一部 「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について」  
講師：社会保険田川病院 外科医長 弓削浩太郎氏
    - ・第二部 「意思決定について」
    - ・参加者 62名
  - イ 第2回 平成30年9月18日（火）18：00～20：00
    - ・第一部 「自分の死生観を考える～臨床宗教師の立場から話題提供～」  
講師：福岡聖恵病院 臨床宗教師 山下亮恂氏
    - ・第二部 「死生観について」
    - ・参加者 48名
  - ウ 第3回 平成30年12月21日（金）18：00～20：00
    - ・第一部 「はじめての臨床倫理」  
講師：琉球大学附属病院 地域医療部 金城隆展氏
    - ・第二部 カード方式事例検討を通して在宅医療の倫理を考える
    - ・参加者 35名
  - エ 第4回 平成31年2月22日（金）18：00～20：00 予定

## 住宅リフォーム助成実績

H31.2.26

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
申請件数	31	56	36	36	29	36	28	252
利用によって定住した人数	69	129	92	95	76	91	63	615
補助金支出額	2,785,000	4,886,000	3,404,000	3,287,000	2,500,000	5,000,000	4,315,000	26,177,000
補助対象額	40,720,193	74,017,356	50,808,649	45,943,839	49,036,387	53,499,525	46,412,639	360,438,588

※1件の申請で複数の工事が該当する場合がありますので、申請件数対象工事件数に相違が生じる

H31.2.26

	対象工事	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計	代表的な工事内容
1	バリアフリー改修工事	15	16	14	13	15	19	16	108	浴室・便所改修
2	省エネ化改修工事	7	4	4	1	4	15	9	44	ペアガラスへの変更 天井・床下断熱材敷き
3	耐久性改修工事	19	40	18	26	18	23	22	166	屋根・外壁改修
4	耐震改修工事	0	0	0	0	1	0	0	1	—
	延べ件数	41	60	36	40	38	57	47	319	

バリアフリー改修工事率      36.6%      26.7%      38.9%      32.5%      39.5%      33.3%      34.0%      33.9%

H31.2.26

		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
工事費	平均価格	1,313,555	1,370,692	1,451,676	1,351,289	1,690,910	1,486,098	1,657,594	1,457,375
	補助件数	31	54	35	34	27	36	28	245
	最高価格	5,901,857	5,901,857	3,800,000	4,074,075	5,641,180	3,231,482	3,814,815	5,901,857
	最低価格	204,720	350,000	204,720	495,000	195,000	300,000	230,000	195,000
築年数平均		31年	29年	31年	33年	28年	32年	35年	

○固定資産納税通知書にチラシ同封(4/28発送)・市広報折込(5/1号)による効果

問合せ件数(6月末)

**23件**


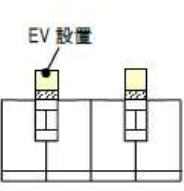
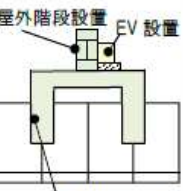


# 既設市営住宅へのエレベーター設置について

## 1 概要

### 中層共同住宅へのエレベーター設置

- ・ 昭和 40～50 年代に建設された中層住棟の多くはエレベーターが設置されておらず、高齢者や介護者、障がい者等の階段の昇降による身体的負担が課題となっている。
- ・ 対応策としては、従前入居者の上階から下階への住み替え等も考えられるが、新規募集における上層階の空き住戸の増加等の課題は残る。そのため、高齢者等の福祉対応や空き住戸の解消等に向けては、既存の中層住棟にエレベーターを設置することが有効となる。
- ・ エレベーターの設置方法については、住棟形式(片廊下型・階段室型)によって、実施可能な設置方法は異なるが、費用対効果等の観点も踏まえ、最適な方法の選択が重要となる。
- ・ 片廊下型住棟の場合は、既存の外廊下にエレベーターを着床させることが可能であり、原則として入居者が居住した状態(居つき)でエレベーターを設置することが可能である。
- ・ 階段室型住棟の場合、踊場ではなく各階の床レベルにエレベーターを着床させるためには、既存階段室の解体・撤去、共用廊下の新設等の大がかりな工事が必要なため、原則として居つきでの工事は難しい。一方でエレベーター設置に伴う移転期間を利用し、大規模な住戸改善を実施することで、住戸の居住性向上や、住戸内・共用部分の総合的な福祉対応等を図ることが可能となる。
- ・ なお、エレベーターの設置に伴い家賃・共益費等が上昇することから、建設・維持管理費の縮減に配慮した計画・設計を行うこととともに、移転・仮移転の必要性や家賃・共益費等の上昇についての事前説明等、入居者の理解と協力を得るための配慮と準備を行うことが重要となる。

## 2 主なエレベーターの設置方法

設置方法	片廊下型住棟		階段室型住棟		
	既存廊下活用型 (フロア着床型)	階段室 踊場着床型	新設廊下設置型 (フロア着床型)	棟内廊下設置型 (フロア着床型)	バルコニー側設置型 (フロア着床型)
改修のイメージ					
改修概要	既存共用廊下の手すり壁等の一部撤去し、エレベーターを設置する。	既存階段室の手すり壁等の一部撤去し、エレベーターを設置する。一般的に設置基数が、他の方法より多くなる。	既存階段室を撤去し、共用廊下及びエレベーター等を設置する。(既存階段室の一部を利用してエレベーターを設置する方法もある。)	既存住戸の一部を共用廊下化することで、解体・増築部分を最小限に抑えつつ、エレベーターを設置する。	既存バルコニーの手すり壁等の一部撤去し、エレベーター等を設置する。(法規制等により階段室側へのエレベーター設置が困難な場合の設置方法)
バリアフリー	完全バリアフリー化が図られる	半層分の階段昇降が残る	完全バリアフリー化が図られる		
仮移転等	原則として仮移転等は不要		既存階段室の解体・撤去等を伴うため、原則として仮移転等が必要		原則として仮移転等は不要

(参考資料: 公共住宅事業者等連絡協議会 HP・公的賃貸住宅長寿化モデル事業実施事例集)

### 3 先進地の設置事例

#### (1) 群馬県菅広瀬第二団地



#### ア 概要

建設年度	昭和47、48年度
構造・形式	RC造・壁式構造・階段室型
戸数	30戸（改善後26戸）
階数	5階建て
工事中の入居者の居住の有無	居抜き（一時移転が必要）

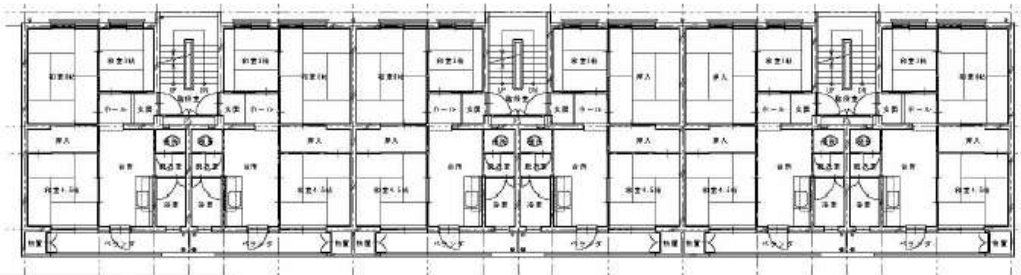
## イ 主な工事内容

### ○従前住戸の一部を共用廊下とすることによる、3戸1エレベーターの設置

- ・従前3つあった階段室のうちの1つを閉鎖し、従前住戸の一部を共用廊下とした上で、エレベーター(2基)を設置し、バリアフリー化を図った。
- ・共用廊下と階段室の連結部には、従前の玄関開口を活用した。

### ○従前住戸の一部共用廊下化に伴う、住戸規模変更、間取り改修等

- ・3K・42㎡で画一的であった規模・間取りを、従前住戸の一部共用廊下化に伴い、複数の規模・間取りに変更、改修した。また上層階に限定し、従前住戸の戸境壁(耐力壁)に開口を設け、住戸規模増を行った。
- ・和室の洋室化による段差解消、UB設置、手すり設置等による福祉対応のほか、屋根の外断熱改修や外壁の断熱改修、サッシ交換、設備の高効率機器への交換等による省エネルギー対応を図った。



基準階 改善前平面図



基準階 改善後平面図



5階 改善後平面図

(2) 三島市宮光ヶ丘団地（静岡県）



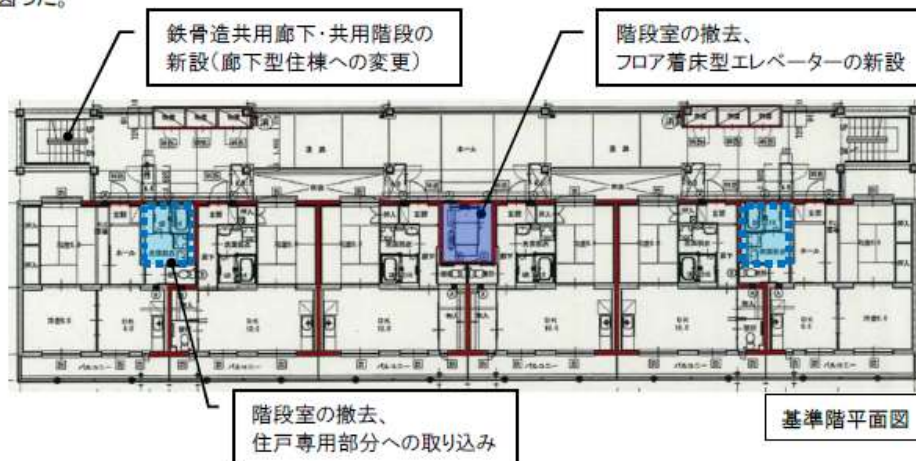
ア 概要

建設年度	昭和48年度
構造・形式	RC造・壁式構造・階段室型
戸数	30戸（改善後28戸）
階数	5階建て
工事中の入居者の居住の有無	居抜き（一時移転が必要）

イ 主な工事内容

片廊下型住棟(エレベーター付き)への変更

- ・階段室の撤去、共用廊下・共用階段・エレベーターの新設により、階段室型住棟から片廊下型住棟への変更を行い、バリアフリー化を図った。
- ・また、階段室の撤去スペースを住戸に取り込んだ他、エレベーターシャフトとしても活用することで、空間の有効利用を図った。



(3) 川崎市営住宅（神奈川県）



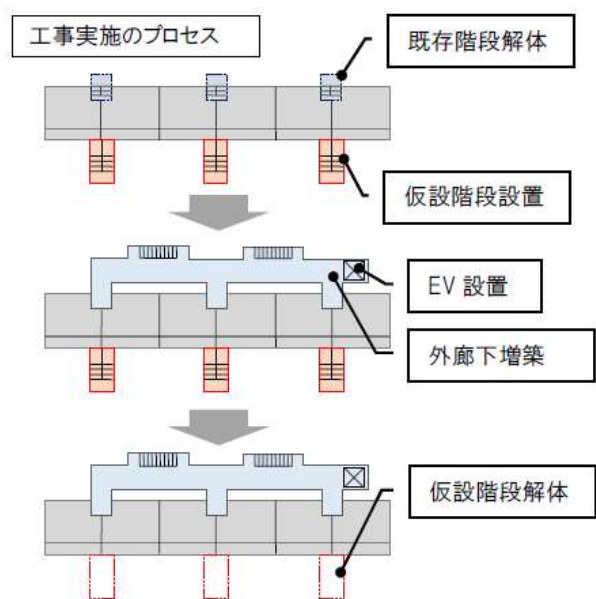
ア 概要

建設年度	昭和42年度
構造・形式	RC造・ラーメン構造・階段室型
戸数	24戸
階数	4階建て
工事中の入居者の居住の有無	居つき

イ 主な工事内容

○階段室型住棟への居つきでのエレベーター設置  
(C-1号棟)

- ・居つきのままでの階段室の撤去、共用廊下・共用階段・エレベーターの新設により、片廊下型住棟への変更を行い、バリアフリー化を図った。
- ・階段室撤去にあたり、工事中の避難経路・日常動線として活用するため、仮設階段をバルコニー側に設置(2戸に1箇所、計3箇所)した。階段室撤去時は、騒音が少ない工法の採用及び作業時間の工夫等を行った。



既存階段解体



仮設階段設置

(4) 水巻町宮鯉口団地（福岡県）



ア 概要

建設年度	昭和52～53年度
構造・形式	RC造・壁式構造・片廊下型
戸数	2～6号棟合計180戸
階数	5階建て
工事中の入居者の居住の有無	居つき

イ 主な工事の内容

○渡り廊下、エレベーターの新設

・片廊下型住棟が横並びに近接していることから、3号棟・4号棟の間に渡り廊下・エレベーターを新設し、2～4号棟のバリアフリー化を図った。

・3・4号棟の間にエレベーターを設置  
・2号棟を含めた110戸がエレベーターを利用可能



介護保険施設等（入所施設）

平成30年12月1日現在

施設区分		介護保険サービス	福岡県高齢者保健福祉計画 整備量管理	指定等 関係機関		市内施設数	定員数	入所人員	入所率
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム） ※定員30人以上		介護保険	意向調査 有	県 （介護保険課）	指定	4	260	246	94.6%
地域密着	地域密着型介護老人福祉施設 （地域密着型特別養護老人ホーム） ※定員29人以下	介護保険	意向調査 有	保険者 （広域・市）	指定	0	-	-	-
介護老人保健施設（老人保健施設）		介護保険	意向調査 有	県 （介護保険課）	指定	3	280	238	85.0%
介護医療院		介護保険	意向調査 有	県 （介護保険課）	指定	0	-	-	-
介護療養型医療施設（療養型病床群等）		介護保険		県 （介護保険課）	指定	1	8	8	100.0%
地域密着	認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	介護保険	意向調査 有	保険者 （広域・市）	指定	11	162	149	92.0%
養護老人ホーム			意向調査 有	県 （介護保険課）	指定	1	50	39	78.0%
軽費老人ホーム			意向調査 有	県 （介護保険課）	指定	1	30	29	96.7%

## 介護保険施設等（入所施設）（施設名）

## ○介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

単位：人

No.	施設名	住所	定員
1	特別養護老人ホーム 寿楽園	田川市伊加利平原2097番地	100
2	特別養護老人ホーム ことぶき園	田川市伊田431-1	50
3	特別養護老人ホーム むつみ園	田川市夏吉36-4	50
4	ユニット型介護老人福祉施設 春のおとずれ	田川市伊加利2047-3	60

## ○介護老人保健施設（老人保健施設）

No.	施設名	住所	定員
1	介護老人保健施設 あげぼの荘	田川市夏吉46番地	100
2	介護老人保健施設 明寿苑	田川市川宮1569番地の2	100
3	介護老人保健施設 サンドリーム 田川	田川市伊加利2047-4	80

## ○介護療養型医療施設（療養型病床群等）

No.	施設名	住所	定員
1	医療法人田中医院	田川市春日町1番7号	8

## ○認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

No.	施設名	住所	定員
1	グループホーム 見立	田川市弓削田3251番地	9
2	グループホーム めぐみの里	田川市夏吉364番地	18
3	グループホーム サンホーム	田川市川宮1711番地29	18
4	いきいきハウス日吉町	田川市糺2264番地1	9
5	医療法人吉峯医院 グループホーム日の出	田川市新町24番24号	18
6	グループホーム 夏吉園	田川市夏吉3614番地の1	18
7	グループホーム やすらぎ	田川市伊田426番地	18
8	グループホーム 愛の里 白寿荘	田川市奈良1534番地の31	18
9	グループホーム 心笑み 伊田	田川市伊田3764-1	9
10	グループホーム 愛ほーむ	田川市夏吉334番15	18
11	グループホーム 老花家	田川市伊田2585番地4	9

## ○養護老人ホーム

No.	施設名	住所	定員
1	シントラスト夢美苑	田川市川宮1567-8	50

## ○軽費老人ホーム（ケアハウス）

No.	施設名	住所	定員
1	ジョイハート	田川市大字奈良1529-55	30

その他の高齢者向け住宅

平成30年12月1日現在

施設区分		介護保険サービス	福岡県高齢者保健福祉計画にて整備量管理	指定等 関係機関		市内施設数	定員数	入居人員	入居率
有料老人ホーム	介護付			県 (介護保険課)	届出	2	90	89	98.9%
	住宅型			県 (介護保険課)	届出	13	409	381	93.2%
	健康型			県 (介護保険課)	届出	0	-	-	-
サービス付き高齢者向け住宅				県 (住宅計画課)	登録	1	100	96	96.0%
高齢者向け優良賃貸住宅				県 (住宅計画課)	認定(終了)	4	216	206	95.4%
シルバーハウジング				国土交通省 厚生労働省	届出	0	-	-	-

## 資料 5-4

## その他の高齢者向け住宅（施設名）

○介護付有料老人ホーム（県介護保険課届出分）

単位：人

No.	施設名	住所	定員
1	アットホームこころ	田川市大字夏吉417-3	30
2	さわやか田川館	田川市大字伊田393-1	60

○住宅型有料老人ホーム（県介護保険課届出分）

No.	施設名	住所	定員
1	コレクティブハウス「めぐみ」	田川市大字夏吉263番地11	14
2	住宅型有料老人ホームぱらだいす	田川市大字夏吉3062番地の1	20
3	住宅型有料老人ホームレッシェルン	田川市大字川宮664番地	33
4	住宅型有料老人ホームきらぼし	田川市大字弓削田117-1	40
5	サニーサイド	田川市大字伊加利2140-8	14
6	住宅型有料老人ホームまごころ	田川市伊田4849番地1	18
7	いきいきハウスレジデンス	田川市大字糠2265番地1	23
8	日の出荘	田川市大字伊田491-1	22
9	第2日の出荘	田川市大字伊田487-1	20
10	住宅型有料老人ホームケアタウンあいあい田川	田川市大字糺2085-10	89
11	後藤寺サクラ園	田川市丸山町1番4号	30
12	かながわ苑	田川市大字夏吉1785-1	36
13	サンプレイス暖家の丘	田川市大字位登113番地1	50

○サービス付高齢者向け住宅

No.	施設名	住所	定員
1	サンフェロー暖家の丘	田川市大字糺824番地20	100

○地域優良賃貸住宅（高齢者型）

No.	施設名	住所	定員
1	かながわ苑	田川市大字夏吉1785番地1	36
2	後藤寺サクラ園	田川市丸山町1番4号	30
3	サンプレイス暖家の丘	田川市大字位登113番地1	50
4	サンフェロー暖家の丘	田川市大字糺824番地20	100